



M&P receives a specific license from the OFAC in relation to its operations in Venezuela

(写真) Maurel & Prom “OFAC からベネズエラでの事業ライセンスの発行を受けたと発表”

2024年5月6日(月曜)

政治

- 「[パナマ大統領選 右派ムリノ候補が当選](#)
～[ダリエン地峡の封鎖を約束](#)～」
- 「[米国 合意に準じた制裁緩和を改めて強調](#)」
- 「[大統領選 外国在住有権者数が少なすぎる](#)」

経済

- 「[Maurel & Prom 米国から制裁ライセンス受領](#)」
- 「[OVF 4月のインフレ率は先月比2.9%増](#)」
- 「[PDVSA 労働者 8.5万人が制裁反対署名](#)」

社会

- 「[外務省 ベネズエラ人の難民選手団入りを拒絶](#)」

2024年5月7日(火曜)

政治

- 「[サマーク・ロペス氏の追加証言](#)
～[アイサミ元石油相は情報操作していた](#)～」
- 「[与党国会 年金生活者を保護する法案を承認](#)」

経済

- 「[印 Reliance 米国に制裁ライセンスを申請](#)」
- 「[1～3月 米のベネズエラ輸入額11.5億ドル](#)」
- 「[TT 海域の原油汚染 ベネズエラが原因?](#)」

社会

- 「[ギネス記録 世界一足の大きいベネズエラ人](#)」
- 「[カラカス サハラ砂漠からの砂が飛来](#)」

2024年5月6日（月曜）

政治

「パナマ大統領選 右派ムリノ候補が当選
～ダリエン地峡の封鎖を約束～」

5月5日 パナマで大統領選が行われた。

同日、開票率90%超の時点で中道右派「目標実現党（RM）」から出馬したホセ・ラウル・ムリノ候補（64歳）が得票率34.4%を獲得し、大統領に当選した（右下写真の人物）。

ムリノ新大統領の任期は2024年7月1日～2029年7月1日となっている。

なお、得票率2位はリカルド・ロンボナ候補で同25%、3位はマルティン・トリホス候補で同16%だった。

ムリノ新大統領は、2009年～14年まで同国の大統領を務めたりカルド・マルティネッリ氏の下で、安全保障大臣を務めた人物で、今回の大統領選でもマルティネッリ氏の支持を受けて当選した。

なお、マルティネッリ氏は、汚職で有罪を受け、現在ニカラグア大使館で亡命申請を行っている。マルティネッリ氏は一時米国への亡命を試みたが2017年に米国で逮捕され、2018年6月にパナマに引き渡された。

裁判の結果、2019年に無罪判決を受けたが、20年に無罪判決が取り消され、2023年に10年8カ月の公職権停止措置を受けた。

マルティネッリ氏は「政治的な理由による迫害」と主張。2024年2月に在パナマ・ニカラグア大使館で亡命申請を行い、同大使館でかくまわれている。

これらの経緯を見る限り、マルティネッリ氏と米国の関係は良好とは言えず、反米国家であるニカラグアとは敵対関係にはないようだ。

マルティネッリ氏が大統領を務めていた頃、マドゥロ大統領とマルティネッリ大統領（当時）との関係は悪かった。

しかし、大統領離任後の流れを見る限り、マルティネッリ氏が左派系の国に接近している印象を受ける。マルティネッリ氏がムリノ新政権に一定の影響力を与えるとなれば、マドゥロ政権と一定の関係を維持するのかもしれない。

また、ムリノ新大統領の当選がベネズエラに与える影響として特筆すべきは「ダリエン地峡の封鎖」である。

ムリノ新大統領は、コロンビアとパナマの国境をつなぐダリエン地峡の封鎖を公約に掲げている。ダリエン地峡を通じて大量のベネズエラ移民が北米に流れ込んでおり、パナマも移民問題を抱えている。

ダリエン地峡が封鎖されれば、ベネズエラ移民の流れに大きな影響を与えることになるだろう。



（写真）@JoseRaulMulino

「米国 合意に準じた制裁緩和を改めて強調」

ベネズエラ米国大使館は、ソーシャルメディアアカウントにて、フランシスコ・パルミエリ氏(実質的にベネズエラ米国代表大使の役割を担う人物)の発言を投稿。ベネズエラに対する制裁緩和の可能性について触れた。

「本日、制裁緩和について米国企業と話し合いを行った。我々の政策は、包括的で競争性のある選挙を実現するためにある。バルバドス合意の完べきな履行に向けて前進があれば、前向きに対応する」との見解を示した。

マドゥロ政権は、エドムンド・ゴンサレス氏の大統領選出馬を認める姿勢を示し始めており、これを理由に制裁についても何らかの前進が期待されている。



(写真) @usembassyve

「大統領選 外国在住有権者数が少なすぎる」

前号「[ベネズエラ・トゥデイ No.1059](#)」にて、「選挙管理委員会(CNE)」が有権者登録の一次結果を発表したとの記事を紹介した。

一時結果では、外国在住のベネズエラ人で大統領選に投票できるのは69,189人となっている。

この69,189人のうち新たに有権者登録を受けたのは508人。住所変更されたのは6,020人だけだという。

しかし、外国には約800万人超のベネズエラ移民がいるとされており、「ベネズエラ選挙観測所(OEV)」の試算によると約400万人は選挙権があるはずだという。

国外に移住したベネズエラ人の多くはマドゥロ政権に否定的な人が多く、マドゥロ政権が有権者登録を妨害していると非難する声が散見される。

経 済**「Maurel & Prom 米国から制裁ライセンス受領」**

フランスのエネルギー会社「Maurel & Prom (M&P)」は米国の「外国資産管理局(OFAC)」から制裁ライセンスの発行を受けたと発表した。

23年11月 M&Pは、マラカイボ湖周辺のウルダネタ西部にある「Petroregional del Lago (PRDL)」の事業再開でPDVSAと合意([「ベネズエラ・トゥデイ No.985」](#))。今回の制裁ライセンスの発行を受けて、今後も同事業を継続できることになる。

2024年4月17日 米国政府は、制裁ライセンスNo.44-Aを発行。ベネズエラの石油・ガス産業への制裁緩和措置を基本的に撤回した。ただし、今後(5月31日以降)もベネズエラとの取引継続を希望する企業は別途OFACに申請するよう指示。申請を受けて、OFACが個別に制裁ライセンスを発行するとしていた。

OFACがM&Pへ制裁ライセンスを発行したのは、24年5月3日。このライセンスは2026年5月31日まで有効だという。

なお、現地メディア「Bancaynegocios」によると、M&Pは2023年9月の段階で OFAC に制裁ライセンスを申請していたようで、申請から約8カ月が経過していたことになる。

「OVF 4月のインフレ率は先月比2.9%増」

「ベネズエラ経済観測所 (OVF)」は、2024年4月のベネズエラのインフレ率について、先月比2.9%増と発表した。

3月のインフレ率が3.9%だったのでやや物価が落ち着いていたことになる。

2024年1月～4月までのインフレ率は10.9%。

2023年5月～24年4月までの累積インフレ率は87%になった。

品目別で物価上昇が激しかったのは「医療」で先月比5.3%増、「教育」は同5.2%増、「食品」は同5%増。

地域別では、「ヌエバエスパルタ州」が先月比3.6%増、「スリア州」が同3.0%増、「アンソアテギ州」が同2.8%増、「カラカス首都区」が同2.7%増となっている。

なお、ベネズエラ中央銀行は2024年4月のインフレ率が先月比2%増だったとしている（「[ベネズエラ・トゥデイ No.1059](#)」）。

「石油産業労働者 8.5万人が制裁反対署名」

4月6日 PDVSAのラファエル・テジェチェア総裁は、8.5万人超の石油産業労働者が「米国による制裁からの独立宣言」に署名したと発表した。

2024年4月17日 米国政府は制裁ライセンス No.44-A を発行。5月31日以降のベネズエラ石油産業との取引に厳しい制限を科している。

この状況を受けて、マドゥロ大統領は「ベネズエラは成長と発展のためにワシントンのライセンスは必要ない」と発言。米国の姿勢を非難していた。

社 会

「外務省 ベネズエラ人の難民選手団入りを拒絶」

2016年のリオオリンピックから出場国の中で「難民選手団」というグループが登場した。

紛争や迫害により故郷を追われた難民アスリートによって構成されており、2020年の東京オリンピックでは、シリア7人、イラン5人、南スーダン4人、アフガニスタン3人、他にエリトリア、イラク、コンゴ共和国、コンゴ民主共和国、カメルーン、スーダン、ベネズエラから出場している。

なお、ベネズエラからはボクシング男子75kg級でエルドリック・セラ・ロドリゲス氏が出場した。

2024年に開催されるパリオリンピックには36人のアスリートが「難民選手団」として出場する予定だが、ベネズエラからはスポーツ射撃で Edilio Centeno Nieves 氏（メキシコ在住）が登録されている。

しかし、ベネズエラ移民を「紛争や迫害により故郷を追われた人」と認識するかどうかはグレーゾーンであり、マドゥロ政権はオリンピックの認識を拒絶。

ベネズエラ外務省は、ベネズエラ人アスリートを難民選手団に入れることを拒絶する趣旨の声明を発表した。

2024年5月7日（火曜）

政治
「サマーク・ロペス氏の追加証言
～アイサミ元石油相は情報操作していた～」

5月7日 タレク・ウィリアム・サアブ検事総長は、PDVSAの石油収入を横領していた汚職事件「PDVSA-Cripto」の続報を発表した。

今回の発表は、4月9日にタレク・エル・アイサミ元石油相と共に逮捕されたサマーク・ロペス氏（アイサミ元石油相の右腕）の証言を基にしている。

ロペス氏の証言によると、アイサミ元石油相は、記者やインフルエンサーやメディアに報酬を支払い、マドゥロ政権の評判を落とすような世論操作をしていたという。

報酬は架空の人物への給料の形で支払われており、金額は月3000～5000ドルだという。

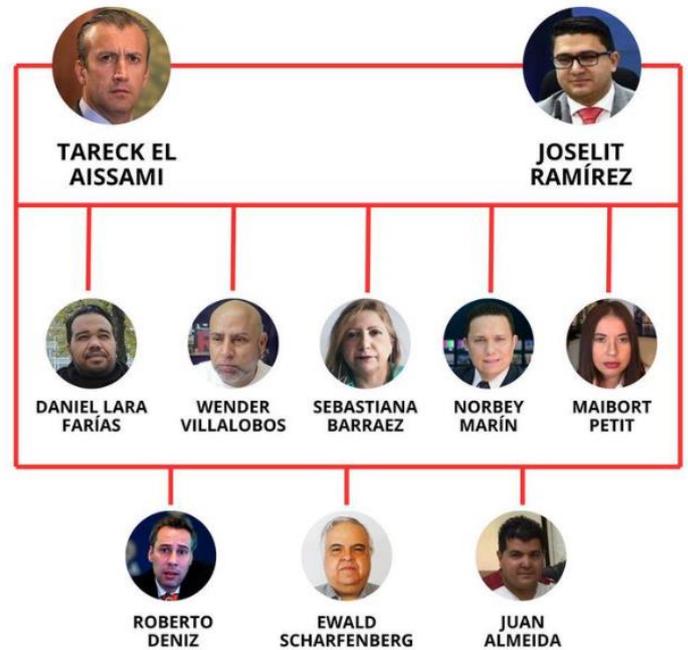
ロペス氏が具体的に言及した人物の名前は、Daniel Lara Fariás 氏、Wender Villalobos 氏、Norbey Marín 氏、Maibort Petit 氏、Sebastiana Barraez 氏、Roberto Deniz 氏、Ewald Scharfenberg 氏、Juan Almeida 氏の8名（右の写真参照）。

どの人物も反マドゥロ政権派の記者・ジャーナリストとして有名な人物。

また、ロペス氏によると、これらの記者は汚職に加担した人物と接触し、ネガティブな情報を流さない代わりに賄賂を支払うよう要求しており、対象者の資金余力に応じて3万～10万ドルの支払いを求めていたという。

他、ロペス氏は、これらの人物の中には「米国国際開発庁（USAID）」から資金援助を受けている人物がいると指摘している。

ロペス氏の証言を裏付けるような証拠は確認できておらず、この証言が事実かどうかは不明である。

**ESTRUCTURA MEDIÁTICA
EXTORSIVA DE EL AISSAMI**


(写真) 情報通信相

「与党国会 年金生活者を保護する法案を承認」

マドゥロ政権は、年金受給者への支払い額の一部を企業が負担する趣旨の法案「帝国主義の妨害から年金を守るための使用者負担に関する特別法」を国会に提出した（[「ベネズエラ・トゥデイ No.1058」](#)）。

同法案は5月3日に与党国会に提出されたが、4日後の5月7日に第2セッションを通過。近日中に正式に法律として発行する見通しとなっている。

オリジナルの法律は公開されていないため、正確なことは不明だが、報道によると、企業が拠出しなければならない金額は、毎月の「基本給」「ボーナス」を合算した金額をベースとし、その金額の最大15%だという(「[ベネズエラ・トゥデイ No.1059](#)」)。

何パーセントになるかは不明だが、企業負担が増加することは間違いなさそうだ。

経済

「印 Reliance 米国に制裁ライセンスを申請」

「ロイター通信」は、内部関係者3名から得た情報として、インドの大手財閥「Reliance」が、米国政府に対してベネズエラと原油取引をするための制裁ライセンスを申請したと報じた。

本稿「Maurel & Prom 米国から制裁ライセンス受領」で紹介した通り、米国政府はベネズエラの石油・ガス産業への制裁を再強化したが、企業からの要請を受けてOFACが制裁ライセンス発行について個別に検討するとしていた。

この説明を受けて、「Reliance」はベネズエラとの取引に関する制裁ライセンスを申請したことになる。

なお、「Reliance」は2020年までPDVSAの大口取引先だった。

しかし、制裁強化の流れの中で、ベネズエラ取引を継続することでRelianceも制裁の二次被害を受ける可能性が高まり、2020年に取引が停止していた。

その後、23年10月に米国政府がベネズエラの石油・ガス産業への制裁を緩和したことで、「Reliance」は第三者の企業を介してベネズエラ産原油の購入を再開していた。

「1～3月 米のベネズエラ輸入額11.5億ドル」

「米国商務省」の「経済分析室(BEA)」によると、2024年1月～3月までに米国がベネズエラから輸入した金額は前年同期比71%増の11億4,900万ドルだったという。

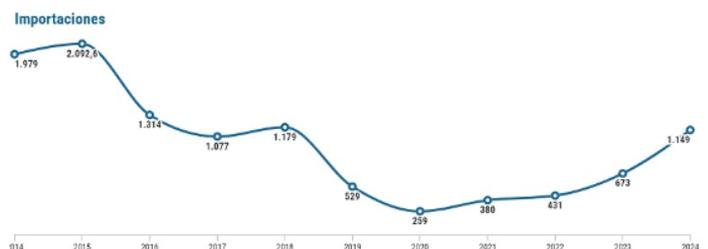
この数字は2018年の11億7,900万ドルと同水準で、2019年以降で最も大きな金額となった。

なお、11億4,900万ドルのうち原油・石油製品の輸入額は5億8700万ドルで全体の51%を占めたという。

原油以外で輸入が多かったのは「大豆」で8700万ドル。次いで、「コム」が6400万ドル。「電話」が5900万ドル。「とうもろこし」が2600万ドルと続いた。

Comercio entre Venezuela y Estados Unidos (primer trimestre de cada año)

El intercambio comercial entre los dos países se incrementó en el primer trimestre de 2024



(写真) Bancaynegocios

一方、2024年1月～3月までの米国からベネズエラ向けの輸出額は10億2300万ドルで前年同期比95%増。

原油・石油製品が輸出全体の92%を占めた。

ベネズエラは原油を米国に輸出しているが、同時に石油製品や希釈剤を米国から輸入する構造になっており、その数字が反映されたものと思われる。

「TT 海域の原油汚染 ベネズエラが原因？」

トリニダード・トバゴ (TT) 海域で、放置されていたタンカー「Gulfstream」から原油が漏れており、海洋汚染が問題となっている。

TT の Allan Stewart 緊急対策局長は、原油漏れの回収作業を行っていると説明。これまでに 20,590 バレルの原油を回収したと発表した。

なお、回収作業は最終段階に入っており、タンカーからの原油取り出しプロセスに入るといふ。

「Gulfstream」がどのような経緯で TT 海域に放置されていたのかは不明。TT の Stuart Young エネルギー相によると、同船舶はガイアナに向かっていたというが、ベネズエラ産原油を積んでいた可能性があるという。

社 会

「ギネス記録 世界一足の大きいベネズエラ人」

ベネズエラには「世界で最も足の大きい存命中の人間」のギネス記録保持者がいる。

Jeison Rodríguez という人物で、年齢は 28 歳。足のサイズは 70 センチだという。

Jeison Rodríguez 氏は先端巨大症という病気を患っており、医薬品を常用しているという。

Jeison Rodríguez 氏はインタビュー番組に出演。先端巨大症の薬を購入するために毎月 1500 ドルを支払っており、普通の生活をするのは容易ではないとコメントした。

「カラカス サハラ砂漠からの砂が飛来」

日本では「黄砂」が飛来しているとのニュースが散見されるが、ベネズエラでは時々サハラ砂漠の砂が飛来することがある。

5月6日からサハラ砂漠の砂が飛来しており、今週から来週にかけてベネズエラ、特に東部・北部・中央部で飛散するという。

ベネズエラ気象観測所は、過度な吸引を避けるため、必要に応じてマスクの着用を推奨している。

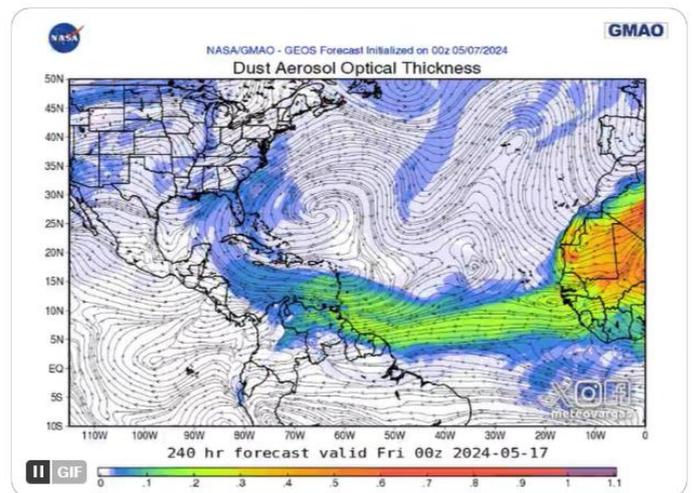


Luis Vargas
@Meteovargas

Follow ...

#7May Desde ayer está sobre Venezuela una nueva capa de polvo del Sahara en concentraciones moderadas. En esta ocasión persistirá en nuestro país al menos durante esta semana y buena parte de la próxima, haciéndose sentir sobre todo en el oriente, franja norte y en los Llanos Centrales. Recordemos que este polvillo así como es un fertilizante de algunos ecosistemas terrestres y acuáticos, también perjudica a otros hábitats como por ejemplo los corales. Igualmente disminuye la calidad del aire, la visibilidad horizontal y en importantes cantidades puede limitar la formación de nubes de evolución, entre otros efectos.

[Translate post](#)



(写真) 気象専門家 Luis Vargas 氏 X

以上